



よこすか市議会だより

No.56

令和7年(2025年)
5月1日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会議会事務局課]

横須賀市議会

検索



pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議

横須賀ならではの新年度予算を可決

3月定例議会

2月13日から3月24日の期間で3月定例議会を開催しました。

主に市長から出された令和7年度の施政方針と、それに伴う予算を審議する定例議会です。

施政方針では、防災対策のさらなる拡充をはじめ、福祉や健康、地域コミュニティの各分野の新たな施策に加え、教育と保育の充実及び経済的負担の軽減など、横須賀独自の取り組み、横須賀ならではの取り組みを多数盛り込んだ予算であることが述べられました。

令和7年度の一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額は昨年度より76億円減の3,410億円で、この予算案に対し、各党派は代表質問を、無党派議員は個人質問を行い、市長、上下水道局長、消防局長、教育長と議論を交わしました。

(質問項目を3面に掲載)

その後、3月4日から3月14日にかけて開催された4つの予算決算常任委員会分科会において、所管部局ごとに詳細な審査を行いました。

最終日の3月24日には本会議にて反対の討論があり採決の結果、全て可決しました。また、追加議案として、緊急消防援助隊手当の支給対象期間の遡及規定を設けた条例改正議案と、議員提案で横須賀市議会の個人情報保護に関する条例改正の議案も提出されました。上程された議案は、本会議で採決の結果、いずれも可決しました。

3月臨時議会

3月31日に臨時議会を開催しました。地方税法改正に伴い、軽自動車税の車両区分を見直す市条例改正の議案を審議し、全会一致で可決しました。

防災トイレトレーラーの整備について審査

災害時だけでなく平時も使用できるトイレトレーラーを導入して、いつでも・誰でも安心してトイレを使用できる環境を整備するため、新年度予算に新規で3,000万円が盛り込まれ、委員会で幅広く質疑が行われました。

この整備により大規模災害が発生した時にはトイレ支援に駆けつけ、また、本市が被災した時には保有する他自治体から支援を受けられるネットワーク体制の構築を目指します。

主な質疑

問 トイレトレーラーの配備予定台数は。
答 1台である。

問 自走式か、それとも牽引式か。
答 費用はあまり変わらないので、平時での使用も考慮しどちらが使い勝手が良いか、いろいろな事業者に当たって検討している。

問 市職員が移動させるのは無理があると思うが、移動の体制づくりは検討しているか。
答 自走式でない場合は牽引免許が必要だが、免許を持っていない市職員は少ないと思う。移動できる事業者も併せて探していきたい。

問 他都市ではトイレトレーラーを購入する際に、

クラウドファンディングを使って寄附金を集めた事例がある。本市での検討は。
答 現在検討中である。

問 燃料費や維持費の予算計上は。
答 運用自体は令和8年度になるので、そこで計上する。

問 能登半島地震の際に汚物の容量がいっぱいになり、くみ取りが困難な状況にあったと聞いている。このトイレトレーラーではどのように処理されるのか。
答 下水管に流すことも、貯めることもどちらもできるタイプを購入したい。現場で下水管が使用可能な場所があれば、水さえあれば流し続けられるようにしたい。

問 障害者の方も利用しやすい仕様になっているのか。
答 障害者の方が利用するには、リフトとプラスチックのスペースが必要になるため大型化する必要がある。その点も含めて検討している。

問 どこが被災した地域がある際に、全国から集まっていくネットワークに参加してはどうか。
答 グループが複数あるため、多角的に検討を進めている最中である。

問 平時ではどのような活用の仕方を考えているか。
答 下水管が完備されていればイベント会場等を使う。さらに例えば公園等に常時設置して、防災の啓発も含めて日常的に使ってほしい。

問 トイレトレーラーのポスターに防災啓発のラッピングをしてはどうか。
答 検討していきたい。



牽引式のトイレトレーラー(イメージ)

三次福祉避難所の備蓄物品等購入に係る費用助成について審査

震災時に市立小・中学校に開設され、一般市民が避難する震災時避難所での集団生活が難しく、特別な配慮が必要な高齢者や障害者の受け入れ先となる「福祉避難所」について、本市では、一次福祉避難所・二次福祉避難所・三次福祉避難所の3層での体制を構築しています。二次福祉避難所では対応が難しい、ほぼ寝たきりの高齢者や障害者一人での生活がでず介助が必要な障害者など最も配慮が必要な方を受け入れる「二次福祉避難所」は、協定を締結した民間の高齢者施設及び障害者施設において開設し、施設の職員が主体となって運営することになっています。この「二次福祉避難所」の体制強化を図り、実際に開設・運営できるようにするため、避難者を受け入れるのに必要な備蓄物品や防災機材等を購入するための経費を助成することについて、令和7年度予算で提案され、委員会において審査を行いました。

主な質疑

問 補助の対象は簡易ベッド・発電機など耐用年数が長く比較的高額な防災機材等や短期間で更新が必要な備蓄品等が補助の対象になるということだが、これら以外の物品も補助の対象になるのか。
答 三次福祉避難所を開設するにあたって必要なものということであれば、個別に判断しようと考えている。
問 施設の規模が異なっても一律の補助になるのか。
答 建物の大きさや規模が異なっても、今回は同じ基準での補助となる。
問 対象となる14施設は防災協定を締結している施設か。
答 そのとおりである。
問 防災協定を締結している施設であれば、すでに防災機材等を持っているのではないのか。
答 入所施設では自家発電の設備はあるが、通所施設では自家発電等の電源を確保する手段を持っていない施設が多い。
問 各施設において新たに必要な備蓄物品等の把握が必要ではないか。
答 この事業をきっかけに把握できるように確認していきたい。
問 障害者施設における防災機材等の補助上限額が30万円の根拠は。
答 主に小型の自家発電機や簡易ベッド数台の購入を想定して設定した。
問 高齢者施設への補助については、備蓄品と防災機材等を合わせて上限10万円としているが、備蓄品に重きを置いているということか。
答 高齢者施設における入



所施設については、簡易ベッドや自家発電機がすでに備えられているところが多いため、ローリングストックとして毎年必ず使用する食料品や衛生用品をメインとして考えている。
問 この補助金を活用して購入した備蓄品の管理方法を。
答 備蓄品であればラベルを貼り、防災用であること、明記するなど、通常、施設で使用する物品とは分けて管理をしていたらいいようにする。また、実績報告の際に管理状況についてしっかりと確認を行っていく。
問 補助の対象となる発電機の種類は。
答 種類を決めるつもりはない。施設が使いやすいものが一番良いと考えている。
問 発電機の定期点検等を施設に義務付けるのか。
答 いざという時に使えるように管理・保管をお願いする。

東京23区からの転入者アンケートや社会動態について報告を聴取

新型コロナウイルス終息後の社会変化を踏まえ、本市が、令和4年度に行った、東京23区からの転入者を対象とした転入理由等のアンケート調査との傾向の違いを把握するため、改めて同様の調査を実施しました。今回の調査結果から、東京23区から本市への転入者数の推移は新型コロナウイルス発生以降、増加傾向が続いていること、住む場所の選択に当たっては住宅価格や間取り、自然環境が重視されていること、転入のきっかけは観光等での来訪が約2割であるとの報告を受けました。

また、本市の人口動態において、転入と転出の差し引きによる社会動態については近年改善傾向が見られ、特にファミリー層については転入超過になるなど本市にとって明るい傾向が見えてきているとの報告を受けました。

委員会では、これらの報告に関して質疑を交わしました。

主な質疑

問 転入者数の増加や社会動態の改善傾向については、これまでの政策的な取り組みの表れだと感じているがいかがか。
答 観光立市推進条例を制定し観光に力を入れてきたこと、さらに、子育てや福祉政策のさまざまな取り組みが奏功していると考えている。
問 一極集中している都内にターゲットを絞った取り組みがよかったと思うがいかがか。
答 本市は都内への通勤圏であると思われている。同時に自然に触れられる暮らしをぜひ感じていただきたいので、引き続きターゲットにして取り組んでいきたい。
問 子育て世代に選ばれているのは総合的な政策の中で子育て世代に関する政策が功を奏しているからではないか。
答 ファミリー層が転入超過になっているのは、中学校給食の開始など市内外の子育て世代に響くような取り組みが大きな要因になっていると考える。

下水道ウォーターPPP導入事業について審査

踏まえ、日頃から地域事情に詳しい地元事業者が主体となつて、役割を担う枠組みづくりが重要ではないか。
答 市としても地元企業の参画は非常に重要だと考えているため、枠組みづくりはしっかりと意識して事業を進めたい。
問 今後のスケジュールをどのようになっているのか。
答 令和7年度に導入方針を決定した上で、8年度に公募、9年度に事業者の決定、10年度に事業開始といったスケジュールを想定している。
問 業務委託をすることで、同梱することを想定している。本市へのふるさと納税寄附者にリピーターになっていただくため、本市のふるさと納税をより知ってもらう点はもちろんのこと、寄附者の6〜7割が関東地方の方であることから、ターゲットとして重なる移住・定住の促進や観光といった点も併せた3つのコンテンツで、経営企画部や文化スポーツ観光部と連携しながら製作していきたいと考えている。

主な質疑

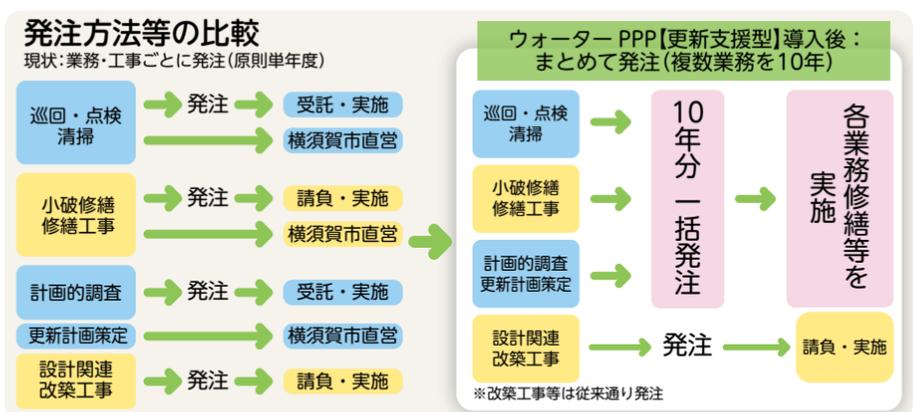
問 導入にあたっては、災害時の即応体制の構築をどう考えているのか。
答 令和7年度に導入方針を決定した上で、8年度に公募、9年度に事業者の決定、10年度に事業開始といったスケジュールを想定している。
問 業務委託をすることで、同梱することを想定している。本市へのふるさと納税寄附者にリピーターになっていただくため、本市のふるさと納税をより知ってもらう点はもちろんのこと、寄附者の6〜7割が関東地方の方であることから、ターゲットとして重なる移住・定住の促進や観光といった点も併せた3つのコンテンツで、経営企画部や文化スポーツ観光部と連携しながら製作していきたいと考えている。

ふるさと納税推進事業の新たな取り組みについて審査

本市では、ふるさと納税推進事業として、これまでより多くの寄附獲得のため、返礼品の充実や、ポータルサイトの内容改善及び効果的な広告展開、寄附額の2分の1を返礼品に関連する事業に充当する仕組みの構築などを行っている、寄附実績を伸ばしてきましました。そこで、新年度は新たな取り組みとして、ファン化やリピーター化を促進するための

主な質疑

問 ファン化やリピーター化を促進するための取り組みは、どのようなものか。
答 パンフレットは10〜15ページ前後で、返礼品に



※ PPPはPublic Private Partnership(パブリック プライベート パートナーシップ)の頭文字をとったもので、行政と民間が連携して事業等を行うことにより、民間の創意工夫や資金の効率化等を図るものです。

「横須賀市議会実行計画 ～未来への羅針盤2027～」を改訂

横須賀市議会は、より一層の市民サービスの向上や行政課題の解決に寄与するため令和5年12月に「横須賀市議会実行計画～未来への羅針盤2027～」を策定しました。それに基づき政策課題の選定、評価・検証する政策形成サイクルを確立し、4年かけて検討を進めています。このたび、計画期間の前半を終えるに当たり、計画の改訂を行いました。

ここまで「スポーツの振興を通じたまちづくりの推進」に関しては検討協議会を設置して検討中であり、本年度中の条例制定を目指しています。このたび、計画期間の後半2年間に取り組む政策立案課題として「若者支援」を選定し、若者の社会参画を促すための取り組みについて協議会を設置し検討を開始したところです。

また、議会改革の課題としては、「議員間討議の在り方」「市議会だよりに関するアンケートの実施」及び「動画を活用した議会報告」等を実施しており、さらには「政務活動費収支報告の公開の在り方」及び「アンケート結果を踏まえた市議会だよりのリニューアル」等の検討を始めるとしました。

横須賀市議会は、今後とも目まぐるしく変化する社会情勢に迅速かつ的確に対応しながら、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を図ってまいります。

横須賀市議会実行計画 ～未来への羅針盤2027～		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
政策立案	スポーツの振興を通じたまちづくりの推進				
	若者支援				
特別委員会	議会基本条例の検証			(継続協議)	
	地域防災計画の検証			(継続協議)	
議会改革	議員間討議の在り方				
	常任委員会所管事務調査(他都市調査)のルール再検討				
	会議等を長期欠席した場合の議員報酬等の在り方				
	政務活動費収支報告の公開の在り方				
広報広聴会議	市議会だよりに関するアンケートの実施(読者対象) アンケート結果を踏まえた市議会だよりのリニューアル				
	動画を活用した議会報告				
	広報広聴会での高校生の意見を踏まえた議会日程周知ポスターのリニューアル				
	議場・委員会室のシステムの在り方の検討				

横須賀市議会実行計画の
詳細はこちら



市議会公式Xを活用した動画による 議会広報を開始

横須賀市議会では、X(旧Twitter)を活用した広報活動を行っています。若い世代の方から高齢の方まで幅広く市民の方に横須賀市議会を少しでも身近に感じていただきたいと考え、各議会日程の案内をはじめ、市議会議員の趣味や横須賀の好きなどの紹介など、親しみやすい内容を考え情報発信をしています。

そして、新たな試みとして3月定例議会から動画による発信を開始しました。今までは写真と文章で定例議会の案内を行っていましたが、今回からは大野忠之議長が今議会で扱う議案の内容や、日程など皆様により一層分かりやすく伝わるように、思いを込めて生の声で説明している動画となっています。市民に開かれた議会を目指し、少しでも親しみやすさを感じていただき、横須賀市が将来的にどのように変わっていくのかを多くの方に興味を持っていただけるよう、今後も議長によるメッセージを発信していく予定です。

まだご覧になっていない方や、Xを始めていない方はこれをきっかけにメッセージや発信内容をご覧いただき、ぜひフォローをお願いします。

横須賀市議会公式 X(旧 Twitter)は
下の2次元コードから!



3月定例議会 代表質問・個人質問

発言通告の全文はこちら→



自由民主党
青木秀介



- ①任期の総括について
- ②財政運営について
- ③人口減少について
- ④雇用について
- ⑤教育について
- ⑥買物困難者について
- ⑦ファシリティマネジメントについて
- ⑧経済対策について
- ⑨スポーツを核とした地域活性化について
- ⑩横須賀港湾計画について
- ⑪防災対策について
- ⑫浦賀駅前周辺地区活性化事業について
- ⑬うわまち病院跡地の利活用と地域の活性化について
- ⑭がん対策の推進について
- ⑮市内道路の維持補修とその手法について
- ⑯地域自治及び地域コミュニティについて
- ⑰教育政策について
- ⑱上下水道局における施策について
- ⑲市役所本庁舎のセキュリティ対策について
- ⑳防犯カメラの設置について
- ㉑女性活躍社会推進の一つである男性の育児休業について
- ㉒安全保障について
- ㉓会津若松市との友好都市提携について
- ㉔郷土愛の醸成について
- ㉕市長選挙について

よこすか
未来会議
竹岡 力



- ①人口流出防止の公約に対する市長自身の評価について
- ②全天候型の遊び場を整備する必要性について
- ③幼稚園の空きスペースを活用した待機児童対策について
- ④待機学童をゼロにするための対策について
- ⑤不登校の学校差を踏まえ分析することについて
- ⑥チーム担任制を導入することについて
- ⑦学びの多様化学校設置の検討状況について
- ⑧義務教育学校の設置を検討することについて
- ⑨体育館の空調整備の優先順位について
- ⑩部活動の地域移行へのステップの早期開示について
- ⑪中央図書館と児童図書館の統合について
- ⑫高校生と市内企業を繋げる社会体験制度の普及について
- ⑬YRPに高等専門学校の誘致を行うことについて
- ⑭友好都市への学生派遣とホームステイ事業創設について

公明党
関沢敏行



- ①防災における三浦半島連携体制構築の実施について
- ②災害時等の偽情報・誤情報の防止対策について
- ③災害時の放課後児童クラブの在り方について
- ④防災における「近助」の重要性を訴えることについて
- ⑤ピロリ菌検査の適切な検索キーワードの設定について
- ⑥強度行動障害者の地域移行支援事業について
- ⑦教育環境充実における職員の役割と負担軽減について
- ⑧AIと人の協働による質の高い行政サービスについて
- ⑨「人にしかできない仕事」のための人間力について
- ⑩他部署連携の「ナッジ・ユニット」結成について
- ⑪学校体育館の空調設備整備の早期実現について
- ⑫観光立市推進アクションプランと推進施策について
- ⑬浦賀地域の観光と経済を盛り上げていくことについて

日本共産党
大村洋子



- ①物価高騰から市民の暮らしを守る地方自治へ今こそ全国的に進む学校給食費無償化。本市も足を踏み出す時
- ②「マイナ保険証」持たない人も安心して受診できる体制を
- ③指定管理者変更の「かがみ田苑」利用者の安心最優先で
- ④横須賀の基地負担。戦争の準備ではなく平和の準備を

日本維新の会
ひろなか信太郎



- ①介護施設における救急対応について
- ②ケアマネジャーのシャドーワーク問題について
- ③高齢者への生活支援に関する課題について
- ④要介護認定結果の遅延問題について

天白牧夫



- ①開発事業の際の環境と共存できる事業形態について
- ②給食残渣による環境負荷の低減について

令和7年3月定例議会・3月臨時議会 審議結果

○=賛成、×=反対、- =欠席・棄権

賛否が分かれた議案	会派					無会派			
	自由民主党	未来会議	よこすか	公明党	日本共産党	日本維新の会	天白牧夫	葉山なおし	藤野英明
	14人	8人	7人	3人	2人				
令和6年度横須賀市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	×	○	○	○	-	
令和6年度横須賀市特別会計介護保険費補正予算(第2号)	○	○	○	×	○	○	○	-	
印鑑条例等中改正について	○	○	○	×	○	○	○	-	
令和7年度横須賀市一般会計予算	○	○	○	×	○	×	○	×	
令和7年度横須賀市特別会計国民健康保険費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	
令和7年度横須賀市特別会計介護保険費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	
令和7年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	
令和7年度横須賀市水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	
令和7年度横須賀市下水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	×	
令和7年度横須賀市病院事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	
老人デイサービスセンター条例廃止について	○	○	○	×	○	○	○	○	
職員定数条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	×	
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	×	
市街地再開発等促進特別減税条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	×	
コミュニティセンター条例の一部を改正する条例等中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	
総合福祉会館条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	
老人憩いの家条例等中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	
保育園条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	
都市公園条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	

※その他議案42件については、全会一致で可決しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。
 ※3月定例議会の議案採決時、自由民主党の内、高橋いずみ議員(2月27日)及び日本共産党の内、ふじそのあき議員(3月24日)は欠席し、藤野英明議員(2月27日)は棄権しました。
 ※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

会派所属議員名 令和7年3月31日現在

会派	議員名	議員名	議員名
自由民主党	加藤真道	南まさみ	青木哲正
	青木秀介	田辺昭人	松岡和行
	大野忠之(議長)	渡辺光一	西郷宗範
	山本けんじゅ	大貫次郎	池田徳重
よこすか未来会議	高橋英昭	加藤ゆうすけ	伊関功滋
	工藤昭四郎	小林優人	竹岡力
	長谷川昇	堀りょういち	
公明党	土田弘之宣	石山満	関沢敏行
	本石篤志	二見英一	川本伸
	菅原恵美子		
日本共産党	大村洋子	井坂直	ふじそのあき
日本維新の会	安川健人	ひろなか信太郎	

陳情

件名	結果
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について	審査終了
公園を全面禁煙にすることについて	審査終了
一般事務(社会人経験者)の職員採用試験の適切な執行について	趣旨不承
横須賀市議会本会議における特定の法人を否定する発言への対応について	趣旨了承

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

編集後記



3月定例議会では、上地市政2期目最後の予算案及び関連諸議案を審査しました。広報広聴会議は今後も、市議会で行われていることをわかりやすく皆様にお伝えするとともに、市政に対するご意見を伺ってまいります。

編集：広報広聴会議(◎=委員長、○=副委員長)
 ◎松岡和行/○加藤ゆうすけ/池田徳重/高橋いずみ/大貫次郎/堀りょういち/川本伸/土田弘之宣/ふじそのあき/ひろなか信太郎/天白牧夫

令和7年6月定例議会の予定

開催日	会議名
5月29日(木)	議会運営委員会
5月30日(金)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
6月3日(火)	民生常任委員会(予算決算分科会)、都市整備常任委員会(予算決算分科会)
6月5日(木)	総務常任委員会(予算決算分科会)、環境教育常任委員会(予算決算分科会)
6月10日(火)	議会基本条例検証特別委員会、地域防災計画検証特別委員会
6月12日(木)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
6月13日(金)	議会運営委員会、本会議(14時)

6月2日(月)・4日(水)・6日(金)・11日(水)は予備日です。
 インターネットでもご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています。)
 時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。
 傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPか議事課でご確認ください。

市議会だよりに関するアンケート結果

—ご協力ありがとうございました—

市議会だよりに関するアンケートを令和6年11月13日から約1か月実施し、10代以下の方から80代の方まで、274件の回答をいただきました。ご協力どうもありがとうございました。

設問のうち、「記事内容・テーマ」については、4割以上の方が「関心が高い」と回答しました。また、「紙面デザイン・記事レイアウト」については、約4割の方が「見やすい」と回答する一方で、「文字の大きさ」について約2割の方が「小さい」と回答しました。

また、自由記述として100件ほどのご意見やご提案をいただきました。

このアンケート結果を基に、さらに多くの方に関心を持っていただけるような記事内容の充実や、紙面の見やすさの向上について検討を進めていきます。



市議会だよりに関するアンケート結果はこちら ➔